

2024年 4月18日

京成バス株式会社

時刻表や運行情報を遠隔で配信 お客様が見やすい「スマートバス停」を導入 (「シャトル☆セブン」 小岩駅1基、葛西駅2基) 2024年4月16日(火)より本格運用開始

京成グループの京成バス(本社:千葉県市川市、社長:齋藤 隆)は、外国人を含むバス待ちのお客様への案内強化を目的として、多言語に対応した「スマートバス停」を環七シャトルバス「シャトル☆セブン」の乗り場に3基(小岩駅1基、葛西駅2基)導入し、3月の試験運用を経て、2024年4月16日(火)より本格運用を開始しました。



今回導入したスマートバス停は、31.5インチの液晶画面にバスの接近情報や時刻表、緊急性の高い運行情報(運休、大幅な遅延)等を大きく表示することが可能なデジタル式バス停で、当社が推進する多言語対応の一環として4か国5言語(日・英・簡・繁・韓)に対応しています。お客様の視認性の向上だけでなく、インバウンド旅行者への案内強化が図られます。

スマートバス停の詳細は次頁の通りです。

スマートバス停の導入について

1. 本格運用 2024年4月16日(火)より
2. 導入製品 株式会社YEデジタル製 スマートバス停（市街地モデルType - B）
3. 導入場所 小岩駅0番のりば（「東京ディズニーリゾート®」方面）
葛西駅1番のりば（小岩駅、亀有駅方面）
葛西駅10番のりば（「東京ディズニーリゾート®」方面）
※いずれも路線バス「シャトル☆セブン」のバス停
4. 対応言語 日本語・英語・簡体字・繁体字・韓国語
5. 表示機能 営業所や本社から、主に以下の情報配信を実施
 - ① バス接近情報（バスロケーションシステムと連動）
 - ② 時刻表（ダイヤ改正時の新旧同時表示が可能）
 - ③ 案内情報の掲載（静止画だけでなく動画の配信も可能）
 - ④ お知らせテロップの配信
 - ⑤ 運休・遅延情報



以上